

<No12 : 水準測量>

レベルの視準線を点検するために、図 12 に示すレベルの位置 A 及び B にて観測を行い、表 12 の結果を得た。この結果からレベルの視準線を調整するとき、レベルの位置 B において標尺 II の読定値を幾らに調整すればよいか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、読定誤差は考えないものとする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

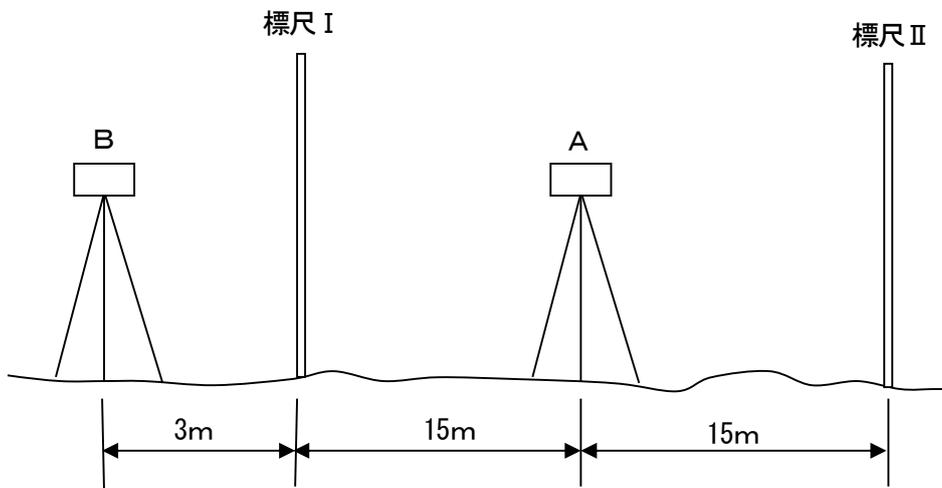


図 12

表 12

レベルの位置	標尺 I の読定値 (m)	標尺 II の読定値 (m)
A	1.5906 m	1.5543 m
B	1.4079 m	1.3616 m

1. 1.3626 m
2. 1.3716 m
3. 1.3726 m
4. 1.3979 m
5. 1.4079 m